

放課後児童支援員等の資質向上のためのオンライン研修会

第46回

全国学童保育指導員学校東北会場

～保護者とともに あらためて「学童保育」を考える～



2021年9月19日(日)

10:30~16:15 (9:30 受付開始)

Web 会議アプリ「ZOOM」を使用

学童保育は、保護者の就労などにより保育を必要とする小学生の放課後および長期休業日の生活を保障すること、保護者が安心して働き続けること、そしてその家庭を守るという目的・役割を担っています。2020年5月現在、3万3,671支援の単位の学童保育に130万5,420人の子どもたちが毎日生活しています。今回のコロナ禍においても学童保育に対する社会の理解が広まった一方、制度の脆弱さも露呈することとなりました。

2011年、東日本大震災と原発事故が起きました。東北各地では、指導員が子どもの命と心を守り、その後も子どもと保護者の生活と心を支え続けています。

2015年、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」と「放課後児童クラブ運営指針」が定められましたが、「地方分権改革」の動きのなかで、2020年4月より「従うべき基準」が参酌化されてしまいました。国会での附則には「3年後の見直し」がつけられましたので、今回のような感染症拡大防止を日常的に行っていくためにも、「従うべき基準」を拡大していく取り組みが大切になってきています。

全国学童保育連絡協議会は、学童保育指導員には高い専門性が求められ、そのためにも自己研鑽や現任研修を積みながら力量を向上させていくことが必要であると考えています。指導員が専門職としての自信と誇りを持って働き続けるためにも、ぜひ指導員学校にご参加ください。あわせて、保護者の方や学童保育に関心のある方もこの機会にご参加ください。

主催 全国学童保育指導員学校東北会場実行委員会

全国学童保育連絡協議会

岩手県学童保育連絡協議会・宮城県学童保育連絡協議会

山形県学童保育連絡協議会・福島県学童クラブ連絡協議会

青森県学童保育連絡協議会準備会

協力 宮城県学童保育緊急支援プロジェクト

後援 (予定)

宮城県・仙台市・青森県・岩手県・秋田県・山形県・福島県 ほか 東北各自治体

宮城県内のマスコミ各社

◆ 日 程

9：30 10：30 12：30 13：45 16：15

受 付	全 体 会	休 憩	講 座
-----	-------	-----	-----

◆ 全体会 10：30～12：30（9：30～入室開始）

- 基調報告 全国学童保育連絡協議会
- 全体講義 『学童保育の生活づくり・指導員の仕事』

～学童保育の役割を果たすには、一人ひとりが専門性を高め質の向上を～
講師：山川美江子（山形県山形市指導員）

【講師プロフィール】山形市生まれ、山形市育ち。1980年に指導員となり、2021年3月定年退職。4月からは再雇用嘱託職員として、うめばち子どもの家にて勤務。指導員歴42年目。放課後児童支援員認定資格研修講師をはじめ県内外の研修会講師のほか、山形県放課後子ども総合プラン推進協議会委員などを務める。2019年から山形県学童保育連絡協議会事務局長。

◆ 講 座 13：45～16：15

講座1 保護者といっしょに子育てを	講師：高木 直（山形県連協会長 山形大学名誉教授）
学童保育では、学校ともちがう特別な人間関係があり、その中で子どもたちは育っていきます。子どもの育ちを見守る保護者と指導員は信頼関係を築くことが重要で、お互いの保育観を共有しながら、指導員は昼間の“育ちの場”を預かるプロとしての力量が求められます。一緒に考えていきましょう。	
講座2 学童保育の生活とあそび	講師：飛鳥井祐貴（神奈川県横須賀市指導員）
学童保育の生活の中で大部分をしめる“あそび”。子どもたちはあそびのなかで、色々な発見を楽しんだり、人間関係を育んだりしています。日々の生活のなかで子ども自身が主体的にあそぶことの大切さ、また指導員があそびに関わる意味や配慮点について考えていきましょう。	
講座3 日々の記録を重ね子どもたちにより良い学童保育を	講師：佐藤千秋（岩手県花巻市連協事務局・元指導員）
「日々の記録」は指導員が子ども一人ひとりへの理解を深め、毎日の継続した生活を保障していく上で欠かせない重要な仕事の一つです。「子どもの事実」と「指導員の視点」を記録し続けていくことと、その活用など実践をもとに具体的に考えていきましょう。	
講座4 障害児とともに育ちあうための生活づくり	講師：松浦 淳（青森中央短期大学）
学童保育の環境、そこで過ごす多様な子どもたちにとっての生活は、どのようなものでしょうか。障害という言葉を切り口に、普段の環境を振り返り、より充実した生活へとつながる学童保育を目指して学んでいきましょう。	
講座5 子どもの心の理解とケア	講師：足立智昭（宮城学院女子大学）
現在、小学生の暴力行為が急増し、文科省のデータでは10年前の約7倍となっています。現代の子どもたちが高いストレスに曝されていることを示すものです。さらにコロナ禍において、心身の不調が顕在化しており、中等度以上のうつと判定される小学生は約24%に上ります。これらの状況を踏まえ、学童保育の現場で行える心のケアについて紹介します。	
講座6 学童保育と指導員をめぐる情勢と課題	講師：千葉智生（全国学童保育連絡協議会）
2020年4月より「従うべき基準」の指導員の資格と配置が参酌化されてしまいましたが、国の基準（省令）の内容は変わりません。また、新型コロナ感染防止対応で学童保育の脆弱さもあらわになっています。自治体による格差が広がりかねない状況のなか、学童保育と指導員の質を確保するためにも、指導員の課題を確かめあい、運動の視点を学びあいます。	

◆ **受講料** 一人 2,500 円（税込）

【東日本大震災被災地からの参加者への受講支援】

東日本大震災で被害が大きかった、青森県八戸市、岩手県、宮城県、福島県内の各地域からの参加者には、全国学童保育連絡協議会に寄せられた「東日本大震災 学童保育支援募金」から受講のための支援をします。詳細は各県の連絡協議会（青森県八戸市は宮城県学童保育連絡協議会）にお問合せください。

◆ **参加 オンライン**

全体会及び午後の講座ともに、Web 会議アプリ「ZOOM」を使用します。

※ ZOOM の URL・ミーティング ID・パスコードは、開催月になりましたらメールで送ります。

当日の資料冊子「受講のしおり」は、郵送します。

◆ **定員** アクセス上限400端末（事前申し込み制、先着順）

申込みは先着順です。定員がありますので、お早めにお申込みください。

※午後の講座は第2希望までご記入ください。定員超過の際はご希望に添えないこともあります。

◆ **申込み方法**

- 受講料（一人 2,500 円）を各県の指定口座に送金し、その控えのコピーと参加申込書をメールまたはFAXで送付してください。
- 1台のPC/タブレットで複数の方に受講いただくことは可能です。
代表の方は必ず、受講する人数の記入と、人数分の受講料のお支払いをお願いします。

◆ **申込み先**

- 岩手・山形・宮城・福島県の方は各学童保育連絡協議会の案内に従ってください。
青森県・秋田県他、上記以外の方は、宮城県学童保育連絡協議会をお願いします。
各県の申し込み先等の詳細は、裏面の申込書に記載されています。
- 振込手数料については各自負担になりますので、ご了承ください。

◆ **締切り** （できるだけ第1次締め切り日までに、お申し込みください）

- 第1次締め切り：7月10日（土） ・ 第2次締め切り：8月20日（金）
- キャンセルは、9月3日（金）迄。 それ以降は、キャンセルできません。
キャンセルの場合は、振込み手数料を引いて返金致します。

- ◆ **問合先** 研修内容：全国学童保育連絡協議会 03-3813-0477
申込み等：宮城県学童保育連絡協議会 touhoku919@gmail.com
または、岩手・山形・福島 各県学童保育連絡協議会まで

◆ **お願い**

- 参加にあたり、事前に ZOOM アプリのダウンロードをお願いします。
- 1つの講座を複数人で受講される場合は、できるだけPC・タブレットをご使用ください。
- インターネット環境を安定させ、安心して受講できるよう、LANケーブルを使った有線接続をお奨めします。
- 参加時の不測の事態に備え、当日必ず連絡が付き連絡先をご記入ください。

第 46 回全国指導員学校・東北会場 参加申込書（宮城県）

氏名 (代表者)	フリガナ	立 場	放課後児童支援員・補助員（ 年勤務） 児童館職員・運営団体関係者・行政・議員 保護者(OB・OG 含む)・その他（ ）		
所属	市区町村	希望 講座	第 1 希望 講座		
	クラブ名等		第 2 希望 講座		
資料送付先住所	〒				
当日の受信機器	パソコン・タブレット・スマートフォン	ZOOM 利用経験	あり・なし		
当日使うアドレス					
ZOOM参加の際の氏名※			複数で参加の場合	人参加	
複数参加者名					
当日連絡先	TEL (当日必ず連絡がつく電話番号)				
受講料について	振込日	月 日	振込 名義		

※ 通常 ZOOM に入る際、画面表示される名前のことです。当日は、指定された名前に変更していただく予定です。操作方法も含めて、申込受付後に連絡いたします。

- **受講料について**… 2,500 円ですが、宮城県内からの参加者には助成があります。
 - ・宮城県学童保育連絡協議会会員：無料(会員特典)
 - ・上記会員以外：1,000 円（宮城県学童保育連絡協議会が 1,500 円助成）
 - ・市町村経由での申込み：無料（「東日本大震災学童保育支援募金」で全額助成）
- ZOOM が初めての方、不安な方のための練習会を開催いたします。
- オンライン受講に必要な機材がない場合は、(ポケット Wi-Fi、ケーブル等)の貸し出しをいたします。

下の QR コードからも申込みできます。

☆申込先：宮城県学童保育連絡協議会
 Mail: touhoku919@gmail.com
 FAX: 022-256-0533(共同受信)

☆送金先：全国学童保育指導員学校東北会場準備会
 ゆうちょ銀行 [記号] 18140 [番号] 19587641
 ※他の金融機関からの場合、[店名] 八一八 [店番] 818 [口座番号] 普通 1958764



〈問合先〉 宮城県学童保育連絡協議会 Mail: miayagi.gakudou@gmail.com